

# 平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充    マスタープラン： 3つの挑戦    施策番号： 1-7

局・課名： 建設局・土木監理課

<b>事業名</b>	<b>道路構造物アセットマネジメント事業※</b>	<b>事業費(千円)</b>	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
			40,791	171,000	259,000	
<b>事業概要</b>  <b>【目的】</b> 市民生活に直結する道路照明灯や道路ネットワークとして重要なトンネルなどの道路施設は、供用から50年を経過するものあり、劣化や老朽化が進行し、ひび割れの進行や倒壊などの事故も生じている。このため、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的な維持管理を実施し、道路法に基づく定期点検と適切な補修を行うことにより、将来に渡る維持管理費の平準化を図るとともに、老朽化による事故等を未然に防ぎ、安全・安心のまちづくりを目指す。  <b>【内容】</b> ・点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルにより、道路施設の長寿命化と維持管理費の平準化を行う ・点検・調査対象施設と進捗率(H31実施数/全数：累計進捗率) 路面下空洞調査 (40/326km:53%)、大型標識点検 (200/2,000基:100%)、トンネル点検 (2/2基:100%)、門型標識等点検 (41/71基:57%)、土工構造物点検 (100/調査中:-)※新規着手 道路防災点検 (41/41箇所:100%) ・補修対象施設(H31実施数/全数：累計進捗率) 路面下空洞補修 (15/57箇所:26%)、道路照明灯更新 (100/377基:53%) 案内標識更新 (5/10基:50%) ※調査・補修対象施設数は点検結果により増減する場合がある  <b>【今年度要求のポイント】</b> ・堺市公共施設等総合管理計画に基づき、維持管理方針を定めた個別施設計画をH30.3に策定しており、国の交付金を活用し、トンネル及び門型標識等の点検、路面下空洞調査するとともに、30%の交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用し、道路照明灯を更新するなど、財源を確保した効果的な維持管理を実施する。	<b>債務負担行為</b>	期間	要求額(千円)			
	H ~ H					
	<b>主な要求内容</b> (単位:千円)					
	項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等		
	道路施設 補修・更新	128,000	143,000	道路照明灯更新・空洞補修ほか		
	道路施設 点検・調査	43,000	116,000	路面下空洞調査、大型標識点検ほか		
	合計	171,000	259,000			
	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					
<b>【経過(～30年度)】</b> ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施、各道路施設ごとに維持管理方針を定めた個別施設計画を策定し、一般道路維持事業として実施		<b>【31年度】</b> ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施		<b>【今後予定(32年度～)】</b> ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施		
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業： ※アセットマネジメントとは、道路構造物の状態を客観的に把握・評価し、予算的制約の中で、いつ、どのような対策を行うのが最適化を考慮して道路構造物を計画的・効率的に管理すること						